

短歌

母の日にスポーツウエアのプレゼント「パークゴルフに着て下さい」と
自選歌に二十一年分を読み解きて二十首選ぶ四百二十の中より
孫のため鯉のぼり上げる人をりし空に舞ふのをわれも眺めり

あつま文芸友の会発行「文芸あつま第二十一号」から抜粋

本郷 矢部 慧子
上野 宮崎 静恵
新町 中田 充子



厚高インフォメーション
Atsuma High school Information

Vol.223

平成30年度を迎えて

3月の離任式で8人の教職員を送り出し、4月9日、着任式で新たな戦力を迎え、新年度がスタートしました。同日、午後1時から入学式で新入生23人を迎え入れ、全校生徒75人がそろいました。

入学式では、新しい環境での期待と希望に胸をふくらませた、新入生のフレッシュな表情が見られました。南原賢二校長のもと、「ちいさくてもあったかい厚高」というキャッチフレーズを大切にしながら、教職員と生徒、保護者さまや地域の皆さまが一つになるような教育活動を展開して参りたいと思います。

3月に卒業した生徒の主な進路先をいくつか紹介します。今年のは入学から誰一人変わることもなく3年間を過ごし、全員が進路を決定して卒業しました。厚真高校で学んだことを生かして頑張ってもらいたいと思います。

か紹介します。今年のは大学進学者が3人いました。千歳科学技術大学、千歳リハビリテーション大学、札幌大学。専門学校は7人。北海道介護福祉専門学校、専門学校北海道リハビリテーション大学、札幌医療秘書福祉専門学校ほか。就職は27人。苫小牧信用金庫、トヨタ自動車北海道、日吉建設（札幌市）、三星、三菱製鋼室蘭特殊鋼などです。

発表します!!
将来の**夢&目標**

上厚真小学校6年



はまじま かずき
濱島 和希くん



はまじま ゆうき
濱島 悠希くん



やまざき こうすけ
山崎 煌丞くん

**厚真町
地域おこし
協力隊**



地域おこし協力隊 農業支援員
こばやし ゆうた
小林 優太さん (27歳)

着任 平成30年4月 (1年目)

出身地 千歳市

ひとこと 厚真町の皆さん、よろしくお願いします。

file.18

自己紹介をどうぞ!
4月から地域おこし協力隊・農業支援員として活動している小林です。私は、大学卒業まで千歳市で育ちました。前職は東京でIT関係の機械整備をしていました。

どうして農業の道に進もうと思ったのでしょうか。
親戚の家で農作業を手伝う機会が多く、昔から土いじりが好きでした。これまでの仕事も面白かったのですが、将来を考えた時に農業を仕事にしたいと思うようになりました。

厚真町に移住先に決めたいきっかけを教えてください。
札幌市で開催された農業人フェアで役場の方とお話して、厚真町は研修農場や支援制度など、新規就農を応援する体制が整っているな、と感じました。他の地域では、独身であることを理由に断られることも多かったですね。

どんな農家になりたいですか。
今は農業初心者なのでいろいろな経験をさせてもらい、知識や経験を積みたいと思います。興味がある作物はメロンです。

現在の活動を教えてください。
研修農場でハウレンソウの栽培・収穫、農家さんのももで水稲の種まき、ビニルハウスの組み立てや解体などを経験しました。どれも新鮮で、毎日が充実しています。

観光協会だより

自分で植えて、自分で収穫して、おいしく食べる
今年も始まりました! 「田んぼのオーナー」

観光協会が実施している「田んぼのオーナー」は、幌内地区の農家さんにお世話になり、米作りを体験することが出来る事業です。

普段の田んぼの管理は農家さんが担い、オーナーは4月下旬に種まき、5月下旬に田植え、10月初旬に稲刈りを行います。その後、11月中旬に収穫米が引き渡されます。

収穫量は毎年異なりますが、不作の場合でも1区画当たり最低30kgが保障され、米どころ厚真町に住んでいても米作りを体験したことのない方、自分で作ったお米を食べたい方はぜひ「田んぼのオーナー」になってみませんか?

昨年は玄米で50kgの引き渡しとなりました。また、農作業体験の終了後には希望者を対象とした特別メニューを実施しています。今年も「かかしづくり体験」や「シイタケのほだ木づくり体験」を予定しています。

価格: 1区画 (1アール) 2万5,000円
※4月29日(日)に種まき体験会が終了しましたがシーズンの途中からでも申し込みできます。



問い合わせ 町観光協会 本郷305-2 ☎29-7711